

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	916AT	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：960AT

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

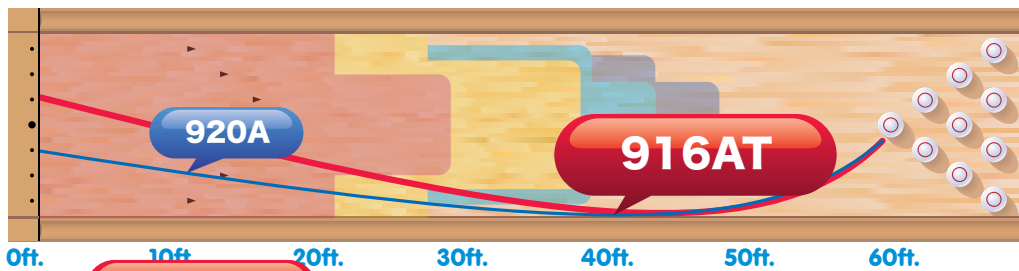
比較対照ボール：920A

フレアーの幅 インチ

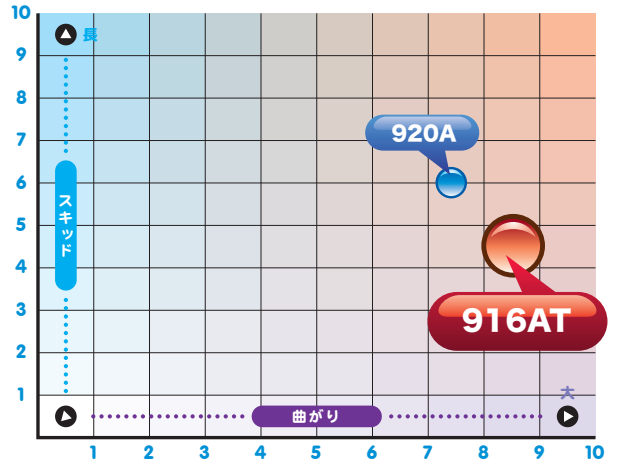
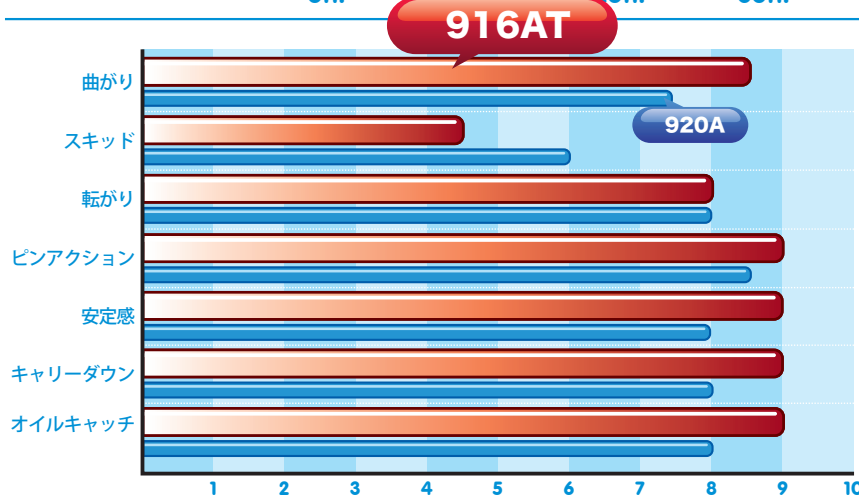
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

トラック社916ALL TERRAINは現在において必要不可欠である表面加工の差で得られるリアクション特性を開発段階から想定し、使用者自らが表面加工をチョイスし、独自に好みのリアクションを得られるよう”ALL TERRAIN”と名付けられました。トラック社916ALL TERRAINはさまざまな表面加工をチョイスすることで異なる凹凸のパターンを作り、完全に異なるパフォーマンスを作りだします。表面加工によるパフォーマンスの融通性を得るために“NEW” HP GEN 4 “ALL TERRAIN”カバーストックを新たに開発し、MODIFIED LEGGO 2と融合。箱出しのままパフォーマンスは”T”(Traction)を発揮し、ボックスポリッシュで”A”(Angular)を最も強調させた性能へとシフトチェンジします。箱出し状態が”9”で最もオイルに強い性能分布になることは言うまでもありませんが、ポリッシュ状態でも相応のオイルに対応するために”9”の性能領域のカバーストックを選択したということでしょう。私が投げた第一印象は、”A”LL”T”ERRAINというネーミングは”A”(Angular)と”T”(Traction)双方を兼ね備えた”916AT”という表現ができるほどでした。箱出しの手前のトラクションも噛み過ぎず、ほど良いスキッド感を得られるし、ポリッシュすれば先での動きはしっかりと確保できる、トラック社ナンバーシリーズの中でも”攻めのボウリングができる性能”のボールに仕上がっています。#2000アブラロンの箱出し状態から#1000にすることで、最も手前からの強い動きをイメージさせる性能に変わり、ポリッシュ加工を施すと最も先での切れを感じさせるイメージに変わります。表面加工を変えて各々に特徴を持たせたのもこのカバーストックの特性で、自分流に好みのリアクションに合わせるよう加工を施してください。

特記事項

トラック社が今回打ち出すALL TERRAINは”A”と”T”双方を兼ね備え、さまざまなシーンでさまざまなパフォーマンスを得られるボールです。